

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2020/11/25 ~ 2021/02/02		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587053301	科目番号 / Course code	05870533
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15421_005		
授業科目名 / Course title	b7音楽と社会 / Music and Community		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西田 治 / Nishida Osamu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西田 治 / Nishida Osamu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西田 治 / Nishida Osamu		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	osamu-n nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部本館516室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	昼休み (事前にメールにてアポイントを取る)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講義では、音および音楽を聴くこと、奏でることの意義について考える。私たちは、普段、おそらく「音楽とは何か」「人はなぜ音楽をするのか」などと考えたりはしない。あたり前のようにそばにあるものであろう。本講義では、立ち止まって身近にある音、音楽についてともに考えていこうとするものである。実技も含むが、音楽の得意不得意は一切問わない。音楽に苦手意識のある方の受講を歓迎する。また、長崎県の魅力を音の風景の観点から発見する活動も含んでいる。		
授業到達目標/Course goals	音および音楽の表現力・影響力について体験的に理解し、それについてことばで語ったり書いたりすることができる。 自らの体験や考えを分かりやすく相手に伝えることができる。 自らと音楽の関係、音楽を通した他者とのかかわり、社会における音楽の役割について考えを述べる ことができる。 持続可能な開発について音楽を切り口として考えることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート・提出物 70% 出席・講義への参加度 30% 授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords	参与型音楽 ワークショップ 長崎県		
教科書・教材・参考書/Materials			
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	できるだけ欠席をせず講義に参加すること。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 音で遊ぶ
第2回	グループで作る
第3回	音と音楽の間
第4回	音風景と音楽
第5回	体で聴き奏でる
第6回	音による対話
第7回	中間まとめ 振り返り
第8回	私の音楽観
第9回	長崎の音風景を聞く
第10回	長崎の音風景を聞く 2
第11回	長崎の音風景を聞く 3 （特別講師：木部崎 幸子）
第12回	パーソナルソング概要 （特別講師：木部崎 幸子）
第13回	私のパーソナルソング
第14回	共に奏でることの意味 社会における音楽の役割 （特別講師：木部崎 幸子）
第15回	再び私の音楽観について

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/06/09		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587053501	科目番号 / Course code	05870535
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15431_005		
授業科目名 / Course title	b7文字と社会 / Written Characters and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鈴木 慶子 / Suzuki Keiko, 中村 文子 / Fumiko Nakamura, 西田 治 / Nishida Osamu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	鈴木 慶子 / Suzuki Keiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	鈴木 慶子 / Suzuki Keiko, 中村 文子 / Fumiko Nakamura		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	keiko-s nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部514研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2302		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水 5		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	日本語表現のうち、文字言語によるものの特徴を多角的に吟味し、言語力を深める。		
授業到達目標/Course goals	1) 自分自身の「文字と社会」力を客観的に認識することができる。 2) 日本文書の特徴を理解し、実際に書くことができる。 3) 文字言語による日本語表現の特徴を俯瞰することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	5回の欠席で失格。10回以上出席の場合に、下記で評価する。60点以上で合格とする。 プレゼンテーション、質疑応答 [10%] OB訪問報告書 [30%] 第2単元に関する提出物 [30%] 試験 [30%]		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	図書館での調査、グループでの協議、個人レポートなど、事前事後の学習の成果を紙媒体で提出することとします。量ではなく、質を求めます。		
キーワード/Keywords	日常生活、文字言語、コミュニケーション		
教科書・教材・参考書/Materials	『美しい日本語表現』池田悠子著 双文社 『書字のススメ』石川九揚著 新潮社 『わかりあえないことから』平田オリザ著 講談社現代新書		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	個人で行うこととグループで行うことの両方ができること。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	書くことは、訓練なしでは獲得できません。 意志を以て、書く力を獲得しましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	鈴木慶子/高等学校国語科教員
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回(4/14)	オリエンテーション、受講基礎調査
第2回(4/14)	自己紹介のための自己分析, 「興味のあることの変遷表」を作る
第3回(4/21)	面接では、人間のここを観る 原田岳氏[株式会社富建 代表取締役社長]
第4回(4/21)	今日の講話を、後輩に説明する文章を執筆する
第5回(4/28)	自己分析と変遷表を使って、自己紹介の文章を執筆する。OB訪問に持参する
第6回(4/28)	自己紹介OB訪問に備えて、口頭での自己紹介の演習
第7回(5/12)	OB訪問(1)
第8回(5/12)	OB訪問(2)
第9回(5/19)	上質なお礼状を書くために.....石丸忠直氏[石丸文行堂 代表取締役社長] 万年筆を作ろう、自分の万年筆で書こう
第10回(5/19)	訪問先のOBに、お礼状を書く(下書き)
第11回(5/26)	OB訪問の報告会(ppで、各チーム5分程度)
第12回(5/26)	報告会での質疑応答を含めた報告文章を執筆する
第13回(6/2)	登場人物を紹介する文章を書く
第14回(6/2)	読書した本の登場人物の紹介 ボードを使った口頭での相互交流
第15回(6/9)	最終レポート「4人の人物像を書く」を郵送する 社会的システムの活用、郵送マナーの実行 * 4人.....原田氏、石丸氏、訪問したOB氏、読書した本 の中の人物
第16回(6/9)	定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4, 月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/16		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587056501	科目番号 / Course code	05870565
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15501_005		
授業科目名 / Course title	b7芸術活動と社会COC / Art Projects and Social Engagement		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	北村 史 / Kitamura Fumito, 西田 治 / Nishida Osamu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	北村 史 / Kitamura Fumito		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	北村 史 / Kitamura Fumito		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kitamura@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	文教キャンパスA&T Lab 爽創館2階オープンラボ1		
担当教員TEL/Tel	095-819-2455		
担当教員オフィスアワー/Office hours	平日16:00~17:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	近年、国内各地で大規模な芸術祭が開催されるようになった。それら多くの芸術祭に共通する特徴として、地域の資源を活用した作品作りや、地域社会・住民を巻き込んだプロジェクト型の取り組みがあり、コミュニティ形成の活動にもなっている。本授業では、このような活動を事例として取り上げ、芸術を発端としたコミュニケーションとコミュニティ形成の過程について学んでいく。授業の後半には、長崎県内の事例を紹介し、活動体験を踏まえて、「これからの長崎を創るワークショップ」ためのワークショップの企画に取り組む。		
授業到達目標/Course goals	a. 国内各地で開催されている芸術祭について比較して説明することができる (11, C) b. ワークショップ活動の教授学習過程としての特徴を説明できる (C) c. 長崎をテーマにしたワークショップ案を企画できる (5, 6, 8, 9, 10) ()内の数字は全学モジュール目標の番号と対応 (『全学モジュールテーマガイドブック』を参照)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	(小テスト・ミニツッペーパー等7点) × 7回 + 調べ学習個別課題10点 + 1回目のプレゼンテーション10 点 + 2回目のプレゼンテーション20点 + 論述テスト11点 = 100点満点のうち、60点以上を合格とする。 配点については微調整をする場合もある。そのような場合は、その都度知らせる。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回の授業後に予習復習のための課題を知らせます。課題には以下のものが含まれます。 資料を閲覧視聴した後の掲示板ディスカッション グループでの準備活動		
キーワード / Keywords	芸術活動、ソーシャル・エンゲイジド・アート、ワークショップ、コミュニティ		
教科書・教材・参考書 / Materials	購入指定する教科書はなし。参考とする書籍等については、授業内で紹介する。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）		
学生へのメッセージ/Message for students		
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	Y	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	宮崎 友理子/長崎県美術館エデュケーターとしての実務経験を有している。/長崎県美術館においてエデュケーターとしての実務経験を活かし、長崎の文化を題材とした地域での活動についての授業を実施する。/	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	オリエンテーション アイスブレイク 受講生の芸術経験に関する調査	A
第2回	国内で開催されている「芸術祭」について（グループでの調べ活動と個別課題） 「表現の不自由展・その後」の中止について考える	A B
第3回	「表現の不自由展・その後」の中止について考える（論点整理） アーティストの反応について動画でふりかえる	A B
第4回	議論成果のグループプレゼンテーション（プレゼンテーション）	A B
第5回	近年の「芸術祭ブーム」における地域社会と文化 瀬戸内国際芸術祭を例とした事例研究	A
第6回	ソーシャリー・エンゲイジド・アート 体験を作品とするアート ワークショップという活動について	A
第7回	レジヨ・エミリア・アプローチ 教授学習過程としてのワークショップ ワークショップの活動事例	A
第8回	ワークショップ体験1	A C
第9回	長崎県内の芸術活動「長崎県美術館等の事例」（講義とミニッツペーパー）特別講師：宮崎 友理子 氏	A
第10回	ワークショップ体験2（体験学習とミニッツペーパー）特別講師：宮崎 友理子 氏	A C
第11回	ワークショップの計画1（グループワーク）	B D
第12回	ワークショップの計画2（グループワーク）	B D
第13回	ワークショッププランの発表（プレゼンテーションとピアアセスメント）	B
第14回	ワークショッププランの発表（プレゼンテーションとピアアセスメント）	B
第15回	プラン発表会のふりかえり（ディスカッション） 本授業のまとめ（論述テスト）	B